



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和4年2月4日

No. 12

令和3年度 2月 朝礼あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

この『おはようございます。』をマレーシアの言葉マレー語で何というか知っていますか？

それは『Selamat Pagi』です。来週から、初めての試みである、マレー語週間が始まります。今日はそのためにこの後、学校事務員のアズィマさんのマレー語講座があります。しっかりとお話を聞いて、少しでもマレー語が使えるようになります。なぜ、マレー語週間を実施するかというと、現在、学校内での学習は、許可されていますが、校外学習や遠足、修学旅行等、学校外での活動は、教育省により一切認められていません。せっかくマレーシアにいるのに、マレーシアのことに触れる機会がないのはとても残念であるということで、学校の中にもマレーシアの文化に触れる機会を持つことはできないかと、先生方で考え、実施することになりました。

さて、そのマレーシアと日本の関係を考えるうえで忘れてはいけない取り組みがあります。それは「ルックイースト政策（東方政策）」です。みなさん、聞いたことはありますか？実は、来年度がその「ルックイースト政策（東方政策）」がスタートして40周年となる記念すべき年なのです。学校でも今年の11月に記念のイベントを開催しようと考えています。

では、このルックイースト政策とは、どのような内容なのでしょう？この政策は、1981年にマレーシアの第4代首相に就任したマハティールさんが提唱したものです。もともとマレーシアは植民地時代からのつながりで、イギリスなどヨーロッパとの関係が強かったのですが、うまくいかない部分がありました。そこでマハティールさんは、同じアジアで急速に成長していた日本や韓国を手本にし、マレーシアを発展させようと考えました。

（日本や韓国が、マレーシアの東にあるため、『ルックイースト』と呼ばれるようになったのです。）

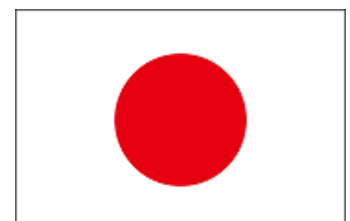
具体的には、西洋的な個人主義ではなく、日本の工業技術や、集団を大切にする考え方や道徳性を取り入れようと考えました。そのために、多くの学生を日本の大学に派遣して、様々な分野で日本について学ぶ機会を設けました。現在までに約12000人の人々が、この政策で日本に派遣されています。

現在、マレーシアは、ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国〔東南アジアの10か国が結成した、政治や経済などで協力を進める連合体〕で、シンガポール、ブルネイに次ぐ、経済力を持つ国となりました（1人当たりのGDP）。これは、マレーシア政府や国民の方々の様々な努力があったからですが、ルックイースト政策が寄与したことも間違いのないと思います。例えば、マレーシアは東南アジアのなかで自動車産業がとても発展しています。自国のブランドの自動車会社があり、海外にも輸出をしています。これは、日本の自動車会社のバックアップがあったからです。

このように、日本と深いつながりのあるマレーシアは、日本への好感度も高く、2019年の調査では、世界で4番目に日本への好感度の高い国としてランクされています。〔1位：台湾・タイ⇒同率（98.3%）、3位：ベトナム（98.0%）、4位：マレーシア（96.7%）〕

このように、マレーシアという国は、世界の国々の中でも日本と深い関係があり、かつ、日本に対して、とても良い印象を持ってきている国なのです。皆さんはこのことをどう考えますか。私は、このような良好な関係を絶対に崩してはいけないと思います。なぜなら、このような関係は、自然にできたものではないからです。多くのマ

レーシアと日本人たちの努力があって、今の状態になったのです。さらに、皆さんには、自分の人生の中でマレーシアに生活した者として、この関係をさらに発展させていくことのできる人間に成長してほしいと強く願います。そのためにも、来週から始まる、マレー語週間に積極的に取り組み、さらに、マレーシア理解を深めていってください。



◎ 保護者の皆様へ

① 1月28日、31日のオンライン授業へのご協力ありがとうございました。濃厚接触者は、陽性と判定され、医師並びに保健省の指示で指定された隔離期間終了後に復帰いたします。病気で苦しんだ者が復帰後、周囲の言動等で、さらに苦しむことの無いようご配慮をお願いいたします。また、目に見えぬウイルスとの戦いのため、いつ何時、だれが感染するかもわかりません。各ご家庭でも、SOPには十分ご注意ください。

② 平成3年度末で、日本に帰国する教員をお知らせいたします。

○ 美馬 正史 教諭 (教務主任 中学部付 社会科担当)

○ 日下部 望 教諭 (小学部主任 小学部5年担任)

○ 奥村 佳斉 教諭 (研究主任 小学部6年担任)

○ 櫻庭 壮平 教諭 (小学部3年担任)

○ 中川 歩美 教諭 (小学部2年担任)

◆ 学校生活の様子



水泳授業(2022.1.11)



避難訓練(2022.1.14)



縦割り活動①(2022.1.25)



縦割り活動②(2022.1.25)